

横山幸次

区政報告
ニュース

561

2015年1月11日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを
ご覧下さい。横山幸次
で検索して下さい。

区の新年度予算編成は…？ 介護、子育てなど負担軽減を

2015年…
区政の課題



さくら館・特養、地域包括

新年を迎え、荒川区では、予算編成の最終段階です。区民のいのちと暮らしを守ることが第一の責務である基礎自治体・荒川区がどういった施策を実施するのが、区民の目線で監視する必要があります。

**増税不況、物価値上げ、社会保障削減計画…
暮らし福祉最優先で「防波堤」の役割を求めます**

第6期の介護保険は…

荒川区は、第6期高齢者プラン中間まとめを発表（裏面参照）。注目の介護保険料は、まだ未定。同時に新年度から特養入所が原則要介護3以上、主要支援の介護サービスの削減、介護事業者の報酬削減が計画されています。本当に安心して住み続け、必要な介護サービスが提供されるのか？やはり、在宅介護と福祉サービスの拡充、多様な施設を地域にバランスよく配置することも急がれます。

子育て世代への支援…

さらに年金削減などに加え、介護・医療保険料も値上げに…。やはり、こうした削減計画から区民の暮らしを守る支援が必要です。子どもの貧困がさらに拡大したことが、大きな社会問題になっていきます。不安定な雇用、低賃金、とりわけ一人親

区の財政は…？

250億円超の貯金
87億円の大型複合施設建設を推進
タブレットPC導入に毎年6億円投入など
こうした財源はあるのです。当然くらし応援も十分に可能です。

今後の社会保障の 主な削減・負担増計画メニュー

- 《医療》
 - 後期高齢者医療の保険料値上げ
 - 入院給食負担値上げ
 - 協会けんぽの保険料値上げ
 - 区市町村国保の都道府県単位化で保険料値上げ、徴収強化
 - 紹介状なしの大病院受診窓口負担引き上げ
- 《年金》
 - 「マクロ経済スライド」実施。物価下落時にも実施可能に
 - 支給開始年齢の先延ばし
 - 年金課税の強化
- 《介護》
 - 介護報酬の削減（財務省は6%削減案）
 - 特養老人ホームの相部屋入所者からの居住費徴収
- 《生活保護》
 - 住宅扶助の引き下げ
 - 冬季加算の引き下げ



裏面 町屋地域の話題、第6期高齢者プランなど

定例法律相談会

2月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

冬の隅田川とその岸辺の多くの鳥たち 定番の鴨、ユリカモメ、川鵜など…

まづの話題あれこれ

暫くぶりに尾久の原公園を一回りしたさい、堤防に立ち寄り斜面上に多くの鳥が川面に向かって休んでいました。どうもユリカモメの群れのようです（写真）。その向こうには、川鵜が一羽飛来、そして、そのそばに冬の定番、鴨が十数羽、川面を泳いでいました。年明け2日に町屋6丁目アパートから隅田川を見ると数十羽の鴨が群れてゆつくり泳いでいました。特に冬場は、鴨類、カモメ類が多く飛来するようです。毎年尾久の原公園のトンボ池にも鴨がたくさん飛来するのですが今年はどうでしょう。残念ながら、残念ながら尾久の原公園は、ダイオキシン汚染でこれから

でこれから



横山幸次

荒川区町屋地域… 新春ウォッチング



年明け、少し町の様子を見て回りました。主な目的は、大地震に対する対応をはじめとする地域の課題を確認するためでした。目立ったのは、地域のあちこちで工事が行われていることです。多くが災害に強いまちづくりの一環の様です。やはり今後の進捗状況が気になりますね。

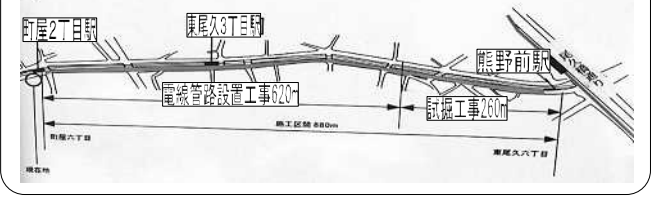
水道管の耐震化工事…
全域での早期実施を

昨年、区の担当者に区内、とりわけ町屋地域の水道管の耐震化状況を聞ききました。そのときは、きちんとした情報を聞き取っていませんでした。水道管の耐震化は、災害時に飲料水確保と同時に、消火栓による消火活動を可能にする確率を高めることにつながります。町屋地域は、木造密集地域の割合が高く災害時の危険度も高いとされています。下地図でもわかりますが、水道管耐震化も緒についたばかりです。初期消火の有効性も指摘されています。「危険な地域」を指摘するならば優先的に耐震化を進めるべきです。



電線類の地中化工事が町屋全域を囲む形で実施

町屋の地域内の都電通りと尾竹橋通りで電線類地中化工事が進んでいます。阪神淡路大震災での火災は、家屋での通電火災と同時に、電柱の倒壊による通電火災の原因も指摘されています。地中化は、災害時に火災リスクを軽減だけでなく避難路の確保にもつながります。現在は、都電通りと、尾竹橋通りにつながる工事です。町屋4丁目など震災危険度の高い地域の主要生活道路の対策も必要です。



保育園、幼稚園、児童館…地域でのあり方が問われます

町屋1丁目の旧町屋ひろば館の解体が終了して空き地に。その近くでは、「新町屋保育園」（民営）の建設工事が進行中。さらに現町屋保育園は4月以降廃園になり跡地に私立幼稚園…。めまぐるしく地域内の子育て支援施設が動いています。やはり、子ども達の自由に活動でき、中高生の居場所にもなる「児童館」機能の拡充が各地域に必要です。

工事中の「新町屋保育園」と4月以降私立幼稚園になる原町屋保育園…



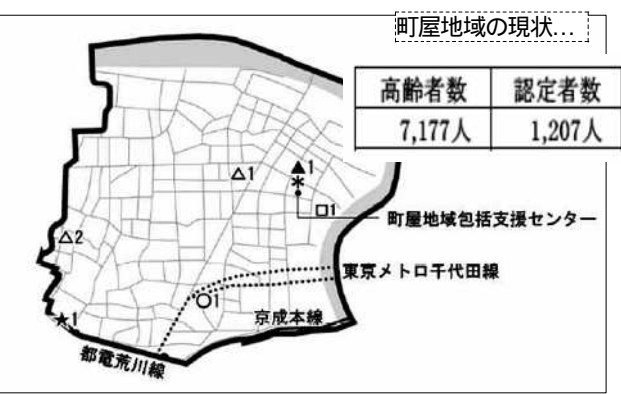
町屋地域 居宅支援事業		定員
小規模多機能型居宅介護		22
1	町屋かどころ	22
夜間対応型訪問介護		0
認知症対応型通所介護		12
1	デイサービスフレスコ	12
認知症グループホーム		27
1	グループホーム町屋あやめ	27
小規模特養ホーム		0
地域密着型特定施設生活介護		0
ショートステイ		8
1	さくら館	8
短期入所療養介護		
1	寺田病院	
2	老健まちや	
合計		69

「荒川区第6期高齢者プラン」で町屋地域は…
住み続けることが出来る保障を作り上げることが必要です

3年に一度の介護保険料の改定もあり、荒川区の高齢者の介護福祉の今後3年間の計画をつくりまします。第6期高齢者プラン中間のまとめが出されて、1月9日までパブリックコメント（意見募集）が行われていました。区民のみなさん、関係者からの意見をまとめて最終案が報告されることになりました。

「要介護高齢者が安心して住み慣れた地域で生活を継続できるように」「在宅生活の限界点を高める」「医療介護の連携や地域での支え合い」「地域ケアシステム」が大きな柱となっています。

どうしたら「住み慣れたまちで最後まで」を実現できるのか、在宅での支援のあり方を言葉だけでなく、これまでの延長線でのサービス内容を超えて、具体的に



的に検討する必要があると思います。

在宅介護と福祉施設の充実や、多様施設を地域にバランスよく整備していくことも必要だと思います。身近な自治体としての荒川区の対策が求められます。また、国による消費税増税と介護給付削減をストップし、国民本位に転換することも大きな課題です。

みなさんのご意見をお聞かせください。

